

授業科目	ファミリーソーシャルワーク論				単位	2		
履 修	選択	関連資格			ナンバリング	WE31221J		
開講年次	4	開講時期	前期	該当DP	DP1-1 DP1-2 DP2-1 DP2-2 DP3-1 DP3-2			
担当教員	文屋 典子							
授業概要	高齢者福祉、子ども家庭福祉、地域福祉等様々なニーズのある家族へのソーシャルワークについて解説する。現代の家族の抱える課題や特徴を理解し、家族を取り巻く社会的状況との相互作用として家族の状況を捉え、支援の展開について多角的に考察することを通して、家族支援におけるソーシャルワークの視点への理解を深めることを目標とする。							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 家族を取り巻く社会的状況と現代家族の抱える困難や課題を理解する。 2. 家族の思いやニーズに応じた支援の方法・展開を理解する。 3. 困難に直面した家族内に生じる相互作用と、家族を取り巻く外部システムとの相互作用を理解する。 4. 事例検討を通して、システム理論、社会構成主義的アプローチ、エンパワメントアプローチに基づく家族支援を実践的に理解する。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	70	0	0	30	100	
知識・理解 (DP1-1)			10				10	
知識・理解 (DP1-2)			10				10	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)			20			10	30	
思考・判断 (DP2-2)			5			5	10	
関心・意欲 (DP3-1)			20			10	30	
関心・意欲 (DP3-2)			5			5	10	
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
<ol style="list-style-type: none"> 1. 家族を取り巻く状況と現代家族の抱える困難や課題について説明できる。 2. 家族の思いやニーズに寄り添った支援の方法・展開を説明することができる。 3. 困難に直面した家族内に生じる相互作用と、家族を取り巻く外部システムとの相互作用について説明することができる。 4. 事例検討を通して、システム理論、社会構成主義的アプローチ、エンパワメントアプローチに基づくファミリーソーシャルワークの支援プランについて提案できる。 				<ol style="list-style-type: none"> 1. 家族を取り巻く状況と現代家族の抱える困難を理解している。 2. 家族の様々なニーズとに応じた支援の方法・展開について理解している。 3. 家族内に生じる相互作用と家族を取り巻く外部システムとの相互作用について理解している。 4. システム理論、社会構成主義的アプローチ、エンパワメントアプローチに基づくファミリーソーシャルワークについて理解している。 				
授業計画								

進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	テーマ: ソーシャルワークにおける家族 援助対象としての家族、原因としての家族、協働者としての家族、ソーシャルワーク実践における家族の位置づけ、捉え方、援助者に求められる視点について解説する	講義	授業内容についての復習	40
2	テーマ: 少子高齢化と家族 「令和2年国勢調査人口等基本集計結果」と過去のデータにもとづき、少子高齢化と世帯の状況の変化、家族が直面する課題と求められる支援について考察する	講義と演習	授業内容についての復習	40
3	テーマ: 高齢期と家族 高齢期の家族の生活課題、「高齢者と未婚の子」世帯の生活困難についてとりあげ、求められる支援を考察する。	講義と演習	授業内容についての復習	40
4	テーマ: 高齢者介護と家族 事例検討を通して、家族をシステムとして捉え、リフレーミング等を用いて介護者と被介護者の関係性を支えるミクロレベルでの介入の視点について考察する。	講義と演習	授業内容についての復習	40
5	テーマ: 高齢者介護家族とメゾ・マクロソーシャルワーク 事例検討を通して、家族を取り巻く社会に働きかけるメゾ・マクロレベルでのソーシャルワークの視点について考察する。	講義と演習	授業内容についての復習	40
6	テーマ: 退院支援と家族エンパワメント 事例検討を通して、問題を持続させる構造とそれを変容させる働きかけ、エンパワメントを生成する過程について考察する	講義と演習	授業内容についての復習	40
7	テーマ: 児童虐待と家族 児童虐待の現状をデータにもとづいて理解し、虐待の背景にある要因、DV,0日児事例等について考察する	講義と演習	授業内容についての復習	40
8	テーマ: 子どもの問題行動と家族 事例検討を通して、子どもの問題行動をめぐる家族の状況のアセスメント、情報収集と支援計画において家族全体を視野に含める視点について考察する	講義と演習	授業内容についての復習	40
9	テーマ: メンタルヘルスに問題のある親の子育て 事例検討を通して、メンタルヘルスに問題のある親の抱える困難、ニーズ、求められる支援の方法について考察する。	講義と演習	授業内容についての復習	40
10	テーマ: 障害と家族 事例検討を通して、障害のある子どもの親であること、家族であること、それぞれの思いを理解し、当事者と家族のウェルビーイングを支える支援について考察する。	講義と演習	授業内容についての復習	40
11	テーマ: ひきこもりと家族 ひきこもりの現状をデータにもとづいて理解し、事例検討を通してひきこもり当事者と家族の思いに寄り沿う支援について考察する。	講義と演習	授業内容についての復習	40
12	テーマ: 貧困・孤立と家族	講義と演習	授業内容についての復習	40

	子どもの貧困の現状をデータから把握し、貧困と子どもの育ち、子育て家族につながる支援について事例を通して考察する。			
13	テーマ:親子のかたちとアイデンティティ 社会的養護や生殖補助医療が進む中で、多様な親子の形が存在し、出自を知る権利にどう向き合うかが新たな課題となっている。これらのテーマに関する事例検討を通して、考察を深める。	講義と演習	授業内容についての復習	40
14	テーマ:家族の物語 社会的養護事例における家族の物語への支援について解説する	講義と演習	授業内容についての復習	40
15	テーマ:ファミリーソーシャルワークの課題と展望 15回の授業を振り返り、家族をとりまく福祉的課題とファミリーソーシャルワークの展望について考察する	演習	授業内容についての復習	40
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	既習科目で学んだソーシャルワーク実践に関する知識があること。 現在の社会で家族が直面する困難や課題に関心を抱いていること。			
テキスト	指定しない			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	「ファミリーソーシャルワークの理論と技法 ー社会構成主義的観点からー」 大下由美・小川全夫・加茂陽 編 九州大学出版会 「家族社会学を学ぶ人のために」 井上眞理子 編 世界思想社 「家族支援と子育て支援 ファミリーソーシャルワークの方法と実践」 相澤仁・宮島清 編 明石書店 「メンタルヘルス問題のある親の子育てと暮らしへの支援」 松宮透高 編 福村出版 「障害者ソーシャルワークへのアプローチ その構築と実践におけるジレンマ」 松岡克尚・横須賀俊司 編著 明石書店			

	<p>「ひきこもりソーシャルワーク 生きる場と関係の創出」 山本耕平 著 かもがわ出版 その他、適宜授業の中で紹介します。</p>
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	<p>福祉的ニーズのある家族に関するニュース、家族を描いたドラマや映画などに関心に向け、家族の個別の物語や思いについて考察する機会をもちましょう。</p>
達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法	<p>期末レポートと「その他」(授業中の発言の状況、教員からの質問に対する答え、学生から教員に対する質問など)により評価します</p>